

平成28年度 第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会議事概要

- 日時：平成28年9月26日（月）19時～20時10分
- 場所：県庁舎29階 294会議室
- 出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会委員 14名
事務局 保健予防課長ほか3名
傍聴人：6名
- 配付資料

- ・次第
- ・協議会設置要綱・委員名簿
- ・資料1-1 健康フェスタ写真資料
- ・資料1-2 健康フェスタチラシ
- ・資料2-1 平成28年度保健医療従事者向け研修会
- ・資料2-2 平成28年度CKD予防研修会アンケート結果
- ・資料3-1 平成27年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告
- ・資料3-2 平成27年度市民公開講座アンケート結果

1. 開会

2. あいさつ

群馬県健康福祉部保健予防課長

委員の皆さまには、日頃、腎臓対策に御尽力いただき感謝申し上げます。本協議会もお陰様で5年目を迎えた。昨年度は、本協議会から糖尿病対策協議会も派生させることができ、発展的に取り組み始めたところである。本日は今年度第1回の協議会となるので、皆さまから忌憚のない御意見をいただきたい。

群馬県慢性腎臓病対策推進協議会長

各団体の皆さまには、本協議会を母体としてそれぞれに腎臓病対策に取り組んでいただいているところである。今年は例年実施している一般県民向け公開講座を、少し規模を拡大して実施したいと考えているので、委員の皆さまのお知恵を拝借できればと思う。

3. 委員紹介

4. 議事（議事進行は廣村会長）

（※川島委員が途中退席予定のため、今回の協議会では協議事項→報告事項での進行となる）

（1）協議事項

平成28年度群馬県慢性腎臓病対策事業

①一般県民向け公開講座について

事務局より、資料1-1、1-2に基づき今年度の一般県民向け公開講座の実施案について説明。

<概要>

- ・例年、3月の世界腎臓デーに併せて群馬大学との共催で実施している一般向けの公開講座について、今年度は高崎イオンでの実施とし、イベントスペースでの体験参加型イベントと文化ホールでの講演会を併せた形で行いたい。

- ・体験参加型のイベントは、これまで県が実施してきたものに準ずる形を取りたい。今年度、5月、8月に開催した健康フェスタの写真（資料1-1）を参考にイメージをしていただきたい。
- ・本協議会にも参画いただいている医師会や薬剤師会、看護協会の皆さまには既に、これまでのイベントでブース出展という形で御協力いただいているので、今回も是非御協力をいただきたい。併せて、今回新たな団体・機関の御参加もお願いしたい。
- ・高崎イオン側の都合と合わせたところ、平成29年3月11日（土）が候補日となっている。時間帯については、現在、イベントホール、文化ホール共に一日押さえてあるが、今後検討いただきたい。

<廣村会長より補足>

- ・このようなイベントは他県での試みもされているので、今回群馬県でも実施を検討したいと考えている。

<質疑・意見等>

(川島委員) 良い試みだと思う。5月に医師会として出展した健康フェスタでは予想以上の集客となったので、今回もよく準備をして取り組めればと思う。

(武智(洋)委員) 5月に実施した際は、禁煙を呼びかけるのがメインのイベントだった。確かに予想を超える集客があった。8月に薬剤師会として別のイベントを実施した経験があるが、来場者からアンケートを取った。今回もしイベントをするのであれば、来場者にアンケートを取るとよいと思う。また、血圧などの測定系のブースは人気があり、かなり並ぶようである。

(小川委員) 看護協会もこれまでのイベントに出席してきた。健康イベントは健康に興味がある層が来る。特に中高年の女性が多いように思う。無関心層、特に男性に立ち寄ってもらえるようなイベントにできればいい。イオンモールで実施するという事は、無関心層に呼びかけるチャンスであると思う。今回はCKDに関する内容がメインになると思うので、どのように呼びかけるか検討したい。今まで実施した健康フェスタにプラスアルファした内容で考えたい。

(岡委員) これまで別のイベントで、食事・運動・禁煙・服薬についてブースを設けて実施した経験がある。食事については興味のある人が多かったように思う。呼吸法等のリラクゼーション等でも出展したことがある。

(塚越委員) 栄養士会としては、栄養指導や野菜摂取量について相談ブースの出展をしたことがある。今回企画されているイベントには是非出席したい。

(柳沢委員) 西部管内で栄養士を中心としてイベントに参加している。4月に別のイベントで、高崎イオンで実施したことがある。野菜を1日350g食べようという企画でやった。野菜のぬいぐるみ製のかぶりものを使った写真撮影やパンフレットの配布を行ったが、無関心層も何となく覗いて寄っていくということがあった。

(廣村会長) 今回は無関心層にCKDをまず知ってもらおうという意図もあるので、興味を持ってもらえるような、良いきっかけとなるようなものを企画したい。

(高井委員) 前橋市の商業施設でイベントを実施したことがあるが、集客はすごい。スタンプラリー等を有効活用して、いくつ以上のブースを回るとグッズがもらえるという形を取ると良いと思う。スタンプをためるという目的で、ブースを回ってもらい、学習をしてもらうということも可能。特に無関心層にはブースにクイズ等を用意すると、知識の底上げも図ることができ、周知にはよいと考える。

(岡委員) クイズをするなら、eラーニングを用いるとよい。

(廣村会長) スタンプラリーの景品はどのようなものを用意したのか。

(高井委員) その季節に合ったものでかつ安価なものを用意した。県が実施するイベントなら、ぐんまちゃんが入ったものを用意するのがよいと思う。

(廣村会長) 県が配布物品を用意することは可能か。

(事務局) 5月や8月のイベントではぐんまちゃんグッズを用意した。5月はスタンプラリー方式を採用し、配布した。今回も検討したい。

(廣村会長) 委員の皆さんからもたくさんの意見が出たので、3月にはイベントを実施する方向で進めていきたい。本日の配付資料の中に、イベントの意向調査という様式が入っている。本日の協議会を踏まえて、各団体で御相談いただき、後日事務局へ提出いただければと思う。その調査を踏まえて、11-12月を目安に具体的にどんな御協力をいただくのか相談をさせていただきたい。また、講演会については従来通り計画をしていきたいと考えている。

(岡委員) ブース出展をした際の予算はどうなっているのか。

(廣村会長) 県の予算もあるかと思うが、今後各団体の出展状況も併せて検討していきたい。例年の講演会では日本慢性腎臓病対策協議会からの補助金も使用しているので、そちらも併せて検討していく。

(※川島委員は①の協議終了時に退席される)

②保健医療従事者向け研修会について

事務局より、資料2-1、2-2について今年度の研修会について説明。

<概要>

- ・今年度、既に実施済み、または実施予定の研修会を報告。9月1日には廣村会長を講師に招いた研修会を開催した。いつもの2倍近くの参加者が集まり、CKDの基礎知識について学びを深めた。
- ・今年度はもう一つ研修会の開催が既に決まっており、昨年度開催したCKDの栄養実践編の続きという形。平成29年1月22日(日)の開催を予定しており、委託業務として進めている。
- ・今年度、さらにもう一つ年度末付近で研修会を開催できないかと考えているので、内容等について御意見をいただきたい。
- ・9月1日に開催した廣村先生の研修会の際に取ったアンケートの結果を資料2-2として提示。受講者の意見として、指導のコツや具体的な方法について悩んでいる方が多い。また、確実に受診につなげる受診勧奨の仕方なども困っているようである。今後の研修への要望としては、現場で即実践できるような内容について上がっている。

<廣村会長より補足>

- ・今回実施した研修会に多くの方が集まったのは、特定保健指導が始まる前の設定だったからと思われる。今までは年度末の開催だったので今回は早めの開催で設定したのが良かった。

<質疑・意見等>

(高井委員) 業務の都合で研修会に出席できなかった。慢性腎臓病は特別な自覚症状がないので、その中でどのように重要性を伝えていくのが現場の課題だと感じている。

(柳沢委員) 研修会に出席した。わかりやすい内容だった。安中市については、本日委員としても出席されている武智(浩)委員を講師に招いて職員の研修を行い、どのような人にアプローチをしていくかを検討した。KDB(国保データベース)を用いて対象者を絞り、今年度腎機能ステージⅢの方に通知を出したところ、申込者数が多かった。参加者の評判も良かったので、来年度以降も続けていきたいと考えている。

(武智(浩)委員) 安中市のデータを実際に見せてもらい、研修を行い一緒に検討をした。安中市の取り組みだけではないが、実際の市町村の取り組みについて広く知る、また共有する機会となる研修会があってもよいように思う。事例紹介という形が参考になるかもしれない。

(塚越委員) アンケートを見ると、カリウムのことや糖尿病のこと、運動指導について興味のある方も多いようである。運動に関しては疾病予防につながるので、研修会に組み込んでいくのもよいと思う。

(廣村会長) 栄養と運動というセットで実施してみるのもよいかもしれない。

(事務局) 今回提示したアンケートだけでなく、他の研修会も併せての意見になるが、患者教室のやり方や個別指導の方法、患者向けのチラシの作成方法など研修会の希望もある。溜井委員が実際に患者教育等をしていると聞いているが、そのノウハウ等を教授いただくのもよいと考えている。

(廣村会長) 溜井委員は、最近の患者教室の実施状況はどうか。

(溜井委員) 現在も毎月教室は実施している。

(廣村会長) 溜井委員の患者教育の様子や、柳沢委員の市町村の実際の取り組みを併せて話していただくとよいかもしれない。医師の指導と行政指導とそれぞれこんな風を実施していると併せて紹介してはどうか。

(事務局) 可能であれば、2-3月頃に実施ができればと考えている。

(廣村会長) 実施の詳細については、事務局と検討したい。

(2) 報告事項

平成27年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告

事務局より、資料3-1、3-2に基づき事業実施報告。

<概要>

- ・本協議会の開催状況についてですが、平成27年9月14日に第1回協議会を開催し、昨年度についてはこの1回のみ開催だった。
- ・患者等一般向け講演会については、平成28年3月19日(土)に渋川市民会館小ホールで開催し、220名の参加があった。こちらの来場者のアンケート結果については、本日資料3-2として添付してある。
- ・医療・保健従事者向け研修会は、昨年度3回実施した。昨年度は初めての試みとし、研修会をすべて夜間に実施した。1回目は平成27年11月11日に実施し、新潟大学の鈴木先生を講師として、CKDの食事療法について御講演をいただいた。参加は115名。
2回目は平成28年2月19日で、CKDの生活と食事指導について、日立総合病院の管理栄養士、石川先生より指導法の基礎部分について講演いただいた。参加は115名。
3回目は平成28年3月8日に開催し、CKDにかかる病診連携について、山梨大学の北村先生に御講演をいただき、参加は83名。3回目については、他の回と比べ、医師の方の出席が多く見られた。

<廣村会長より補足>

- ・市民公開講座については、藤岡、前橋に続き、昨年は渋川で行った。参加者数も例年どおりほぼ満席で盛況だった。
- ・以前からこの協議会で検討しているCKDシールであるが、ホームページの閲覧数とダウンロード数について紹介する。H27.3.1~H27.9.10の約6ヶ月間でホームページの閲覧数は1,174、シールのダウンロード数は87。続いて、H27.9.11~H28.9.23の約1年間でホームページの閲覧数は3,060、シールのダウンロード数は258であった。数字から見ると要望はあるようで、今後も活用について普及啓発等取り組んでいきたい。

<質疑・意見等>

特になし

—協議から報告、全体をとおしての意見—

(植木委員) 活発な取り組みがあってよいと思う。

(関根委員) イオンのイベントはたくさんの人に参加してもらえればよい。

(廣村会長) 関根委員には泌尿器科の立場として、講演会にも御協力いただきたい。

(清水委員) 3月のイベントに患者会として参加する場合、臓器移植の関係で何か出したいと考えている。

(廣村会長) 腎臓病といっても様々なステージの方がいるので、臓器移植の情報提供もお願いできればと思う。

(3) その他

事務局より、今年度委員の更新があることをお知らせする。また、今年度の協議会開催については3月のイベント開催の準備状況も踏まえて改めて御連絡したい。

<質疑・意見等>

(廣村会長) 事務局以外に、その他の事項として委員から何かあるか。

(岡委員) 糖尿病対策の協議会について聞きたい。

(廣村会長) 事務局から説明を。

(事務局) 事務局は本協議会と同じ、保健予防課が務めている。群馬県は既存の統計資料として、新規透析導入患者に占める糖尿病性腎症の割合が全国でワースト2位という状況である。これまで、糖尿病対策自体、普及啓発レベルでしか取り組んでいなかった。そのような状況を踏まえて、協議会を組織して糖尿病の対策を進めていこうということになった。

(岡委員) まだ具体的には進んでいないのか。

(事務局) 県としては、現状、患者数等基礎的なデータ等も把握できていない状況である。そのため、市町村から協力をいただき、データを集約して現在解析に着手したところである。進捗状況等については、まとまり次第、本協議会でも報告をしていきたい。